

書字練習

年 月 日

カント哲学以来、デカルト哲学は棄^すてられた。独断的、形而上学的^{けいじじょう}と考えられた。哲学は批評的であり、認識論的でなければならぬと考えられている。真^いの实在^かとは如何なるものかを究明して、そこからすべての問題を考^{ごと}えるという如きことは顧^{かえり}みられなくなった。今日、人は実践ということを出立^{しゅったつてん}点と考^{ごと}える。実践と離れた实在というものはない。

出典
：デカルト哲学について
西田 幾多郎 著